

新年度がスタートしました。

新1年生の皆さん、コロナ禍の中で、これまでのような学習スタイルが維持できない中、多くの困難を乗り越えてきたことに敬意を表します。

そして、ようこそ長崎大学へ！本学の一員となったことを教職員、在学生を代表して心より歓迎いたします。新年度の始まる4月は、在学生も含めて、皆の身の回りの環境が否応なしに変化するため、1月とは少し違った緊張感が漂います。

皆さんも、そのような空気の中、気持ちも新たに新しいスタートを切ってくれたものと思います。

さて、皆さんは、新しくスタートしたこの1年で何を実現しますか？何を志しますか？

学生時代は、一生の他のどのような時期よりも意思や行動を選ぶ「自由」があります。だからこそ、皆さんには幅広く視野を広げ、新しいチャレンジをして欲しいと願っています。大学での学びは、年を追うごとに専門性を突き詰めていきます。しかし、大学での生活は逆です。

興味の裾野を広げ、どん欲に多様な知識を吸収して欲しいのです。

学部や専門といったことにはまったくこだわらず、何にも縛られることなく、のめり込める何かを見つける機会は、学生時代をおいて他にありません。

夢中になることはどのような努力にも勝る成果を出します。

そして、学生時代に夢中になったことは、社会人になっても人間性の幅を広げ、一生の財産となることが多いのです。ぜひ新しいチャレンジについて、この機会に思いを巡らせてください。

そして「自由」についてはもう一つ、皆さんに考えて欲しいことがあります。

「自由」とは、決して勝手気まま、思いのままふるまうことではないということです。

自ら責任を負うことを前提とし、意思や行動を選択できる権利、とでも言ったらよいでしょうか。

責任と権利がきちんと背中合わせにあるのが「自由」なのです。案外「自由」ほど扱いづらく緊張を強いられるものはありません。

多くの皆さんは、大学に入学した当初、「自由」に直面した時、足元が覚束なくなるような感覚に襲われなかったでしょうか。

これまで、何をすべきか、ほぼすべてを他者が定め、規範を示されてきた生活が、急に消えたのですから、不安を感じた人も多かったのではないかと思います。

学生時代は、「自由」を権利とするならば責任との両立を身に付け、その不安を自信に変え

ていくプロセスでもあります。

ぜひ、この1年で「自由」を駆使し、夢中になることを見つけてください。あるいは今夢中になっていることをさらに突き詰めて欲しいと思います。

そして、その際に最高のサポーターとなり、パートナーとなるのが身の回りにいる仲間です。お互いに切磋琢磨し、自らの学生生活を充実したものに高めあっていきましょう。

皆さんのこれからの1年の健闘を祈ります。